

教育目標

心豊かにたくましく、生き生きと遊ぶ子どもの育成

目指す子ども像

- 心を動かし、夢中になって遊び込む子ども
- 自ら考えて行動する子ども
- 人とかかわりながら、よりよく創造し協力する子ども
- 粘り強く、最後までやり遂げようとする子ども
- 身近な自然に興味をもち、自然を大切にする子ども

目指す教職員像

- ・子ども一人一人の命を守り切るために行動する教職員
- ・子どもや保護者の願いに向き合う教職員
- ・一人一人の可能性を引き出し伸ばさせる教職員
- ・資質向上に努め、支え合い、高め合える教職員
- ・やりがいを感じ、生き生きと働く教職員

目指す幼稚園像

- ・子どもに自信と自立心を育むため、家庭や地域、近隣の幼保小と連携や協働、小学校との接続を推進する幼稚園
- ・地域の子育て支援センターとしての役割を推進する幼稚園
- ・子どもも保護者も教職員も皆が輝く幼稚園

経営方針

- ・子どもが主体的に遊ぶ園づくりを進め、安全・安心な環境づくりを絶えず見直し、改善を図る。
- ・一人一人の輝きを大切に、子どもが夢中になって遊び込み、自分の力を発揮し、友達と関わる楽しさや喜びを感じられる保育実践に取り組む。
- ・少人数の園だからこそできる保育を考えると共に、異年齢児とのかかわりを活かした保育実践に取り組む。
- ・保育の専門性を高め、子どもの育ちを保障していくために、園内研修の充実や園外の研修に参加し実践力を高める。
- ・近隣の幼保小と架け橋期の子どもの学びと育ちへの相互理解を深める関係づくりに努め、連携、接続の推進をはかる。小学校期の学びにつなぐ「学びに向かう力」を育む。
- ・地域の児童館や地域諸団体との連携を図り、未就園児教育相談をはじめ地域の子育て支援センターとしての役割を果たす。
- ・保護者、地域に向けて教育活動を発信し、乾隆幼稚園の取組について理解を得るように努める。また学校運営委員会での関係者評価を活用し、教育活動の改善を図る。
- ・教職員一人一人が自分の職務に矜持をもち、「働きやすさ」と「働きがい」を両立し、誰もが生き生きと働ける職場づくりを考える。

具体的な取組…日々の保育実践（研究・研修）絶えず見直す（評価）

- ・家庭との連携
- ・地域との連携
- ・幼保小中との連携（特に乾隆小学校との連携、接続）
- ・学校運営協議会
- ・未就園児の子育て支援事業「さくらんぼ組・いちご組」
- ・園庭開放 等々

研究主題

心を動かし夢中になって遊ぶ子どもの姿を目指して
～子どもたちの“やりたい”が生まれるきっかけを探る～